

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【公表番号】特表2011-514252(P2011-514252A)

【公表日】平成23年5月6日 (2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-549112(P2010-549112)

【国際特許分類】

B 0 1 J 38/02 (2006.01)

B 0 1 J 23/96 (2006.01)

B 0 1 J 38/60 (2006.01)

C 0 1 C 1/28 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 38/02

B 0 1 J 23/96 Z

B 0 1 J 38/60

C 0 1 C 1/28

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日 (2012.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

白金族金属を基礎とする水素化触媒を再生する方法であって、
前記白金族触媒を基礎とする水素化触媒を、保護ガス雰囲気下で 50 ~ 600 において熱的に再生することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記白金族金属を基礎とする水素化触媒を、熱処理後に強酸で処理する請求項 1 に記載の白金族金属を基礎とする水素化触媒を再生する方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の方法により再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒を、無機又は有機化合物の水素化に使用する方法。

【請求項 4】

無機化合物として一酸化窒素をヒドロキシアニモニウム塩に水素化する、請求項 3 に記載の再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒の使用方法。

【請求項 5】

有機化合物としてオレフィン性若しくはアセチレン性不飽和化合物又はカルボン酸、アルデヒド若しくはケトンの水素化する、請求項 3 に記載の再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒の使用方法。